

米国経済点描（2007.11.1）

～2007年第Ⅲ四半期実質GDP成長率（速報値）～

10月31日、米国商務省経済分析局（BEA）が公表した2007年第Ⅲ四半期（7月～9月）の季節調整済みの実質GDP（速報値）は、年率換算で3.9%の成長となり、米国の実態経済の底堅さを示す結果となった。

この成長に対する寄与度は、消費支出が2.11%、貿易収支が0.93%、政府消費支出・投資が0.73%、総民間国内投資が0.13%で、GDPの約7割をしめる民間消費支出が、サブプライム問題がいわれる中で堅調だったこと、輸出の伸びが16.2%も伸びたことが高い成長率となった主因である。



